

教師ノート

日付	2017年 1月 8日
単元	創世記・5
テーマ	栄えさせてくださる神
タイトル	監獄の中でも
テキスト	創世記39:7～23
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) 創世記39:23
AG 日曜学校教案参照箇所	小下 2 巻 5 題 6 課、小上 1 巻 1 題 8 課
□導入 興味を起す質問をしましょう。	あなたは、だれかから罪を犯すように命令されたことはありますか(アイツを仲間はずれにしよう、いっしょに万引きしようなど)?濡れ衣をきせられたことはありますか(自分がやったんじゃないのに罰を受けた、ウソをついていないのに責められたなど)?
□ポイント1 ヨセフは罪を犯しませんでした(7～10節)	ヨセフは、ポティファルの家で、非常に気に入られ、すべてのことを信頼して任されるようになりました。神は苦しい経験をしたヨセフを幸福にしてくださいました。しかし、そんなヨセフに、また、とんでもない災難が起こります。ヨセフの主人ポティファルの奥さんが、ヨセフを誘惑して、罪を犯させようとしてました。しかしヨセフは、ハッキリとそれを断りました。「どうして、そのような大きな悪事をして、私は神に罪を犯すことができますでしょうか。」そして、誘惑の声にはまったく耳を貸しませんでした。
☞ヨセフにとって、この誘惑に勝つのは決して簡単なことではありませんでした。ヨセフは奴隷の身分でしたから、ご主人の奥さんの言うとおりにしないと、クビにされるかもしれませんでした。せっかくどん底から抜け出して幸福になったのに、またクビになるのは恐ろしかったでしょう。また、お世話になっているご主人の奥様を傷つけてはいけないという、優しい気持ちも働いたでしょう。私たちは、このような場面になったとき、自分に都合のいいように考えて「 <u>奴隷だから奥さんに従わなくては・・・</u> 」「 <u>浮気まではしないけれど、仲良くしてあげないとかわいそうだ</u> 」などと、 <u>つついサタン</u> の誘惑につけいるスキを与えてしまいがちです。しかしヨセフは、 <u>彼が祝福されているのは、主人のおかげより前に、神のおかげだと深く理解して</u> いました。 <u>だから、クビにされる心配より、まず、神にしたがうことをまず第一にすることができたのです。</u> そして、誘惑に耳を貸すこともせず、彼女と距離を保ち、罪を犯す可能性を遠ざけました。	
□ポイント2 ヨセフは監獄に入れられました(11～20節)	ある日、ヨセフがポティファルの家の仕事をしていたときのことで。たまたま家の中には他にだれもいませんでした。ポティファルの妻がヨセフに近寄り、「ねえ、ちょっと私の部屋に来てくださらないかしら」と、ヨセフの服をつかんで言いました。ヨセフはまた悪い誘いだと気づいて、走って外へ逃げました。そのとき、上着が脱げてしまいました。(ヨセフは誘惑に気づいて、罪を犯すくらいなら、クビになった方がましだと考えたのです。自分の身分を捨て、神を第一にするため、必死で走って逃げたヨセフは立派です。)彼女は、ヨセフが逃げたのを見ると、残された上着を手にしたまま、とつぜん叫び声をあげました(彼女は、ヨセフに腹を立てたのと同時に、おそらく、このことをヨセフが主人に言いつけるのをおそれ、とっさにこのような行動にでたのでしょう)。何事が起こったのかと、他のけらいたちが駆けつけました。すると、「あのヘブル人の奴隷が、私の部屋に入ってきて、私にとてもひどいことをしようとしたのです。そこで私が、大声を上げると、彼はあわてて逃げ出しました。この上着がその証拠です。」と作り事を演じました。彼女は自分が悪いのに、それを隠すために、ヨセフを陥れたのです。

そして、主人のポティファルが帰ってくると、ウソの告げ口をしました。ヨセフが彼女にひどいことをしようとしたと言いつけたのです(もちろんヨセフは罪をおかしていません)。するとポティファルは、妻の言うことを信用しました。そして怒りに燃えて、ヨセフを捕らえ、監獄に入れてしまいました。

□ポイント3 ヨセフは監獄のすべてのことを管理するようになりました(21～23節)

ヨセフは、神さまにも、ポティファルにも、何も悪いことをしていませんでした。それなのに、監獄に入れられるなんて、本当にかわいそうです。あなたがヨセフの立場だったら、どんな気持ちになりますか？悔しくて、悲しくて、絶望してしまうでしょう。しかし、神は監獄の中でも、ヨセフとともにいてくださり、支えてくださいました。ヨセフは、監獄の管理をする責任者の人に、非常に気に入られ、信頼されるようになりました。神がヨセフに豊かな恵みを注いで下さり、そのようにして下さったのです。それで監獄の長は、自分が管理していたその監獄にいるすべての囚人を、ヨセフに任せて管理させるようにしました。監獄の長が、囚人であるヨセフに、他の囚人の世話を任せるなんて、普通では考えられないことです(囚人を逃がしたり、暴動をおこしたりされたらたいへんなことです)。それなのに、監獄の長は、「ヨセフの手に任せただけのことについては何も干渉しなかった」とあります。そんな信じられないようなことが起こったのは、「主が彼とともにおられ、彼が何をしても、主がそれを成功させてくださったから」です。普通なら絶望してしまうはずの監獄の中で、神はヨセフとともにいてくださり、支えてくださったのです。

□結論 神さまは、罪を犯さなかったヨセフを祝福されました

暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

ヨセフは誘惑されても罪を犯しませんでした。神さまは、そんなヨセフを大いに祝福されました。たとえ監獄の中でさえも、神さまはヨセフとともにいて祝福を注いでくださいました。みなさんも、誘惑に負けないうで、神さまの祝福をいただきましょう。

適用の例:まず、誘惑を近づけないように、いつも祈りましょう。そして注意して行動しましょう。ヨセフは、ポティファルの妻の言うことに耳もかきませんでした。テーブルの上にケーキがあると、つつい食べてしまうのと同じで、誘惑に近づくと、つつい罪を犯してしまうのです。悪口を言っている人たちの仲間に入らない、人をばかにして楽しむようなテレビは観ない、ゲームセンターには入らないなど、注意深く行動しましょう。

また、ヨセフのように、ハッキリと悪い誘いをことわりましょう。アイツを仲間はずれにしよう、親からお金を盗んで遊びに行こうなどという誘いは、ハッキリと断りましょう。お友だちからの悪い誘いを断る勇気を持ちましょう。確かに、信仰を守り、罪を犯さないように貫いていると、ヨセフが監獄に入れられたように、自分にとって不都合なことも起こるでしょう(だれかを仲間はずれにしなかったせいで、自分が仲間はずれにされるようなことがあるかもしれません)。しかし、神さまが、いつもともに居てくださるから大丈夫です。神さまは監獄の長のような人にさえも働いて、あなたを助けてくれます。だれが何と言おうと、みことばに従っていれば、神さまがあなたを祝福してくださいます。たとえ濡れ衣をきせられて、監獄に入れられても、あなたが神さまを第一にしているかぎり、神さまはあなたにミラクルを起こしてくださいます。